



# 聚楽園大仏 ～日本最初の鉄筋コンクリート造大仏～

Great Buddha Of Shurakuen (Shurakuen Daibutsu)

聚楽園大仏及び境内地  
東海市指定文化財(名勝) 第59号 昭和58年(1983年)11月24日指定

聚楽園大仏及び仁王像  
東海市指定文化財(建造物) 第76号 令和3年(2021年)2月18日指定

## 聚楽園大仏とは

聚楽園大仏は昭和2年(1927年)に完成した日本最初の鉄筋コンクリート造大仏です。完成当初は日本最大の大きさを誇りました。大仏を建立したのは実業家の山田才吉という人物で、大正5年(1916年)に寄附を募って建設事業を始めましたが、なかなか寄附が集まらなかったことから、私財を投じて「昭和天皇御成婚記念事業」として大正13年(1924年)に工事着工し、3年の月日をかけて完成しました。

山田才吉が亡くなった後は企業の所有を経て、昭和58年(1983年)から宗教法人大仏寺の所有となり、市民の寄附によって大規模な修理が行われました。今も地域のシンボルとして訪れる人々を迎えています。

聚楽園大仏とその境内地は伊勢湾に面した高台にあることから、その景観を評価され、昭和58年(1983年)に市指定文化財(名勝)になりました。その後、建造物としての価値が明らかになったことから、令和3年(2021年)に聚楽園大仏と仁王像が市指定文化財(建造物)になりました。

## 文化財調査

(平成30年度(2018年度)～令和2年度(2020年度))

聚楽園大仏は建造当時の記録がほとんど残っておらず、どのような構造で、どのように造られたのかよく分かっていませんでした。このため3年にわたって正確な図面の作成や構造調査を行い、文化財的価値を明らかにしました。

### ○分かったこと

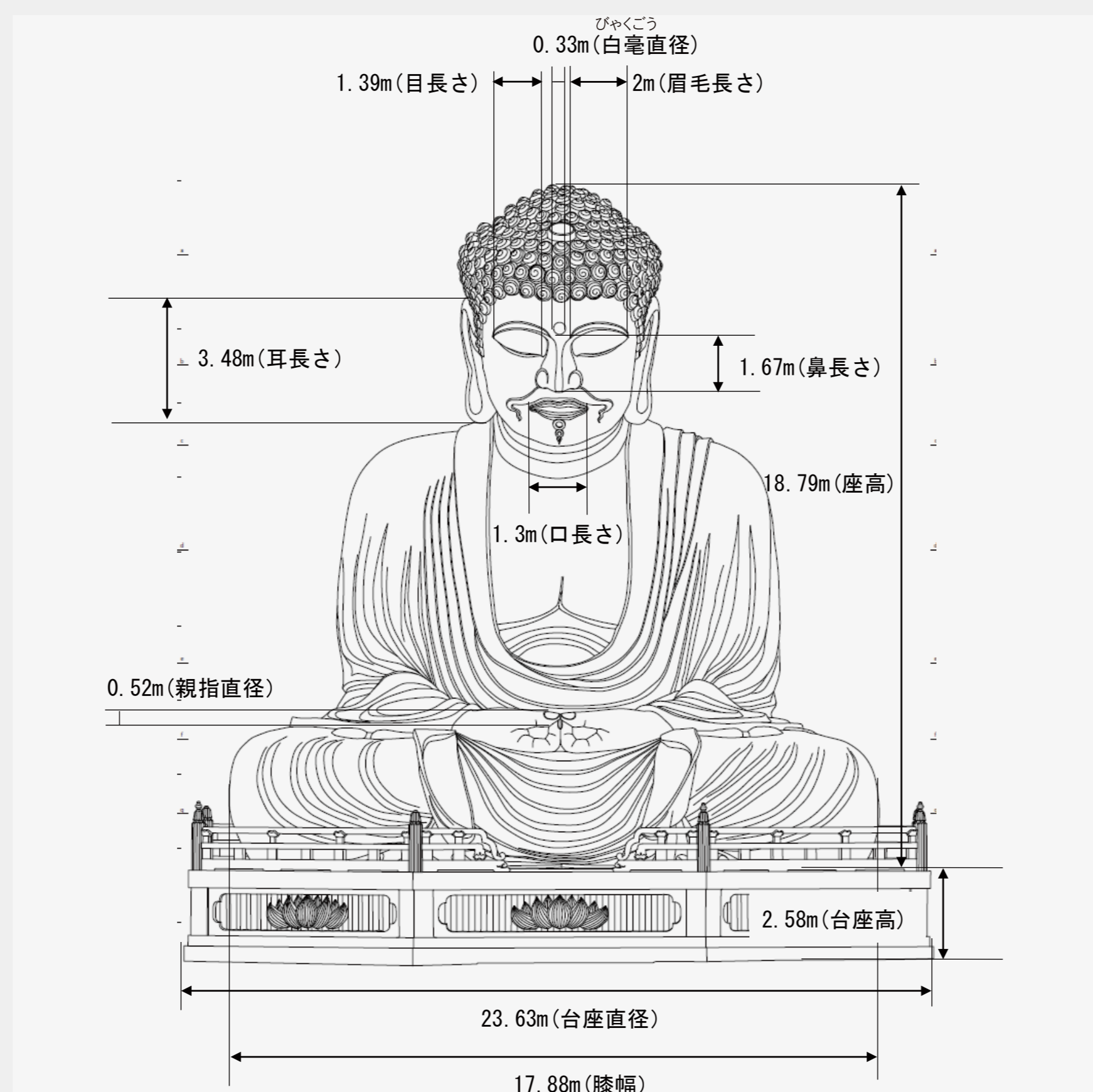
- ① 建造時は日本最初・最大の鉄筋コンクリート造大仏だった。
- ② 鉄筋コンクリートで複雑な形の本体を造り、外側をモルタルで形作っていた。
- ③ 高強度なコンクリートを使用し、劣化も進んでいなかった。
- ④ 鉄筋コンクリート造の造形的利点を示しながら、巨大な大仏の建設を可能にした新たな技術を示す存在である。
- ⑤ 誰もが訪れることのできる公共物として、建造時から多くの人に親しまれ、地域の景観形成の中心的役割を果たしていた。

※コンクリート……セメント+水+細骨材(砂)+粗骨材(砂利)等からなる。主に構造体に用いられる。

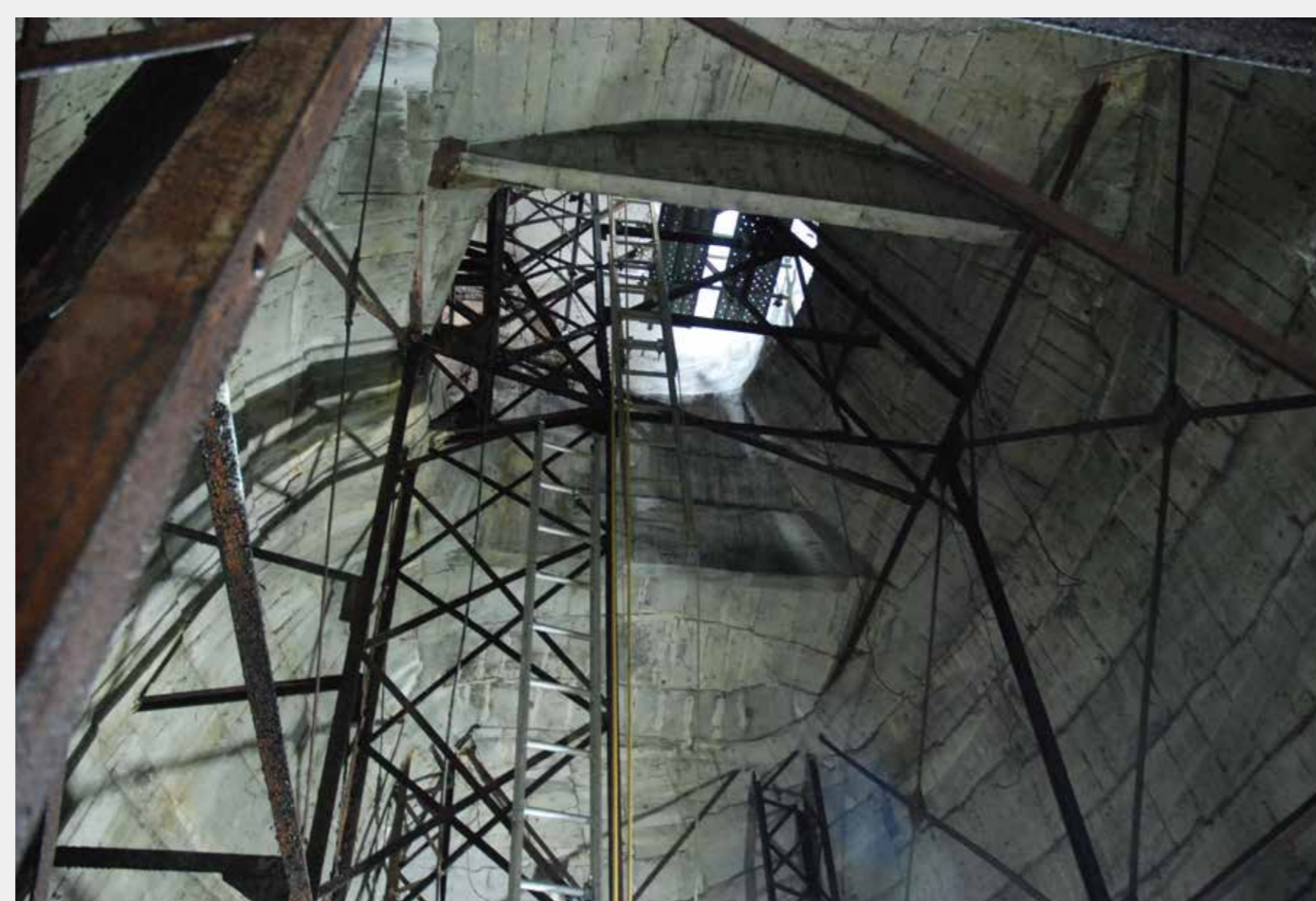
※モルタル……セメント+水+細骨材(砂)等からなる。主に建物の外装や仕上げに用いられる。



完成当時の聚楽園大仏(聚楽園大仏絵はがきより)



聚楽園大仏の各部の大きさ



文化財調査の様子  
内部の仏殿の天井裏は広い空洞になっており、頭部まで足場を組んで構造などを調べました。

## 大仏の構造・建造方法

大仏：鉄筋コンクリート造 仁王像：鉄筋モルタル造

大仏は内部に背骨のような鉄骨の柱と周りに4本の柱があり、構造の中心となるコンクリートは厚さが10～60cm程で、その外側をモルタルで滑らかに仕上げています。頭部は製作中に作り直したようで、内部の調査でその痕跡が見つかりました。

### ○大仏の建造方法

- ① 10分の1の大きさの原型を作り、輪切りにする。
- ② 輪切りの型を拡大してコンクリートを流す高さ60cmの型を作る。
- ③ 型にコンクリートを流して1段ずつ建造する。
- ④ 背骨の鉄骨にエレベーターを付けることでコンクリートを運んだ。
- ⑤ 固まったコンクリートの上にラス(金網)を固定してモルタルを塗って表面の仕上げをする。この時に色を混ぜることで着色した。
- ⑥ 内部の仕上げ(仏殿)や台座の仕上げをして完成。

・仁王像は鉄骨の芯に鉄筋を巻き付けて、何度もモルタルを塗ることで造られました。

## 建造者・施工者について

### ○建造者：山田才吉

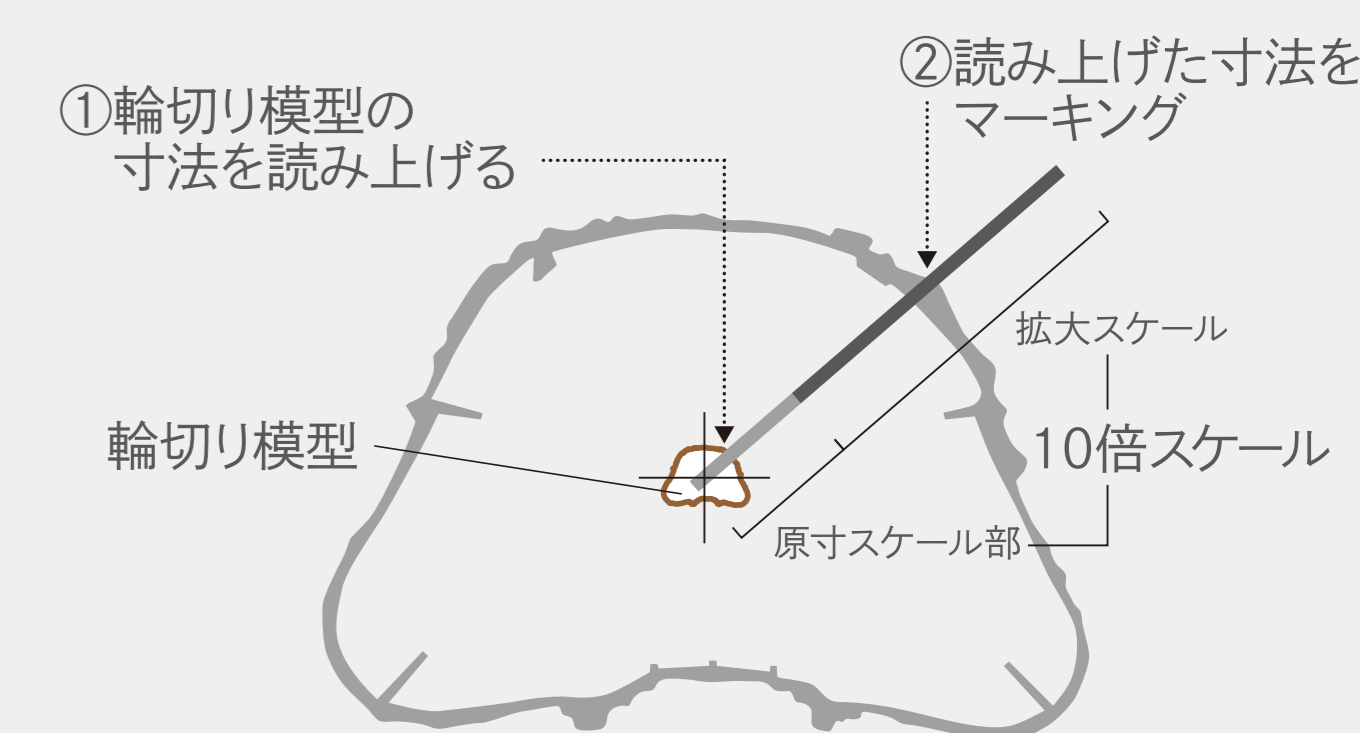
岐阜出身の名古屋の実業家で、明治～昭和初期にかけて活躍しました。守口漬けの考案者としても知られています。才吉は様々な事業を手がけ、料理旅館として知られた聚楽園旅館もその一つです。聚楽園大仏は才吉の晩年に聚楽園旅館の敷地に私財を投じて建造されました。建造費は当時の額で15万円(現在の2～3億円)だったそうです。

### ○施工者：山田光吉、後藤鉄五郎

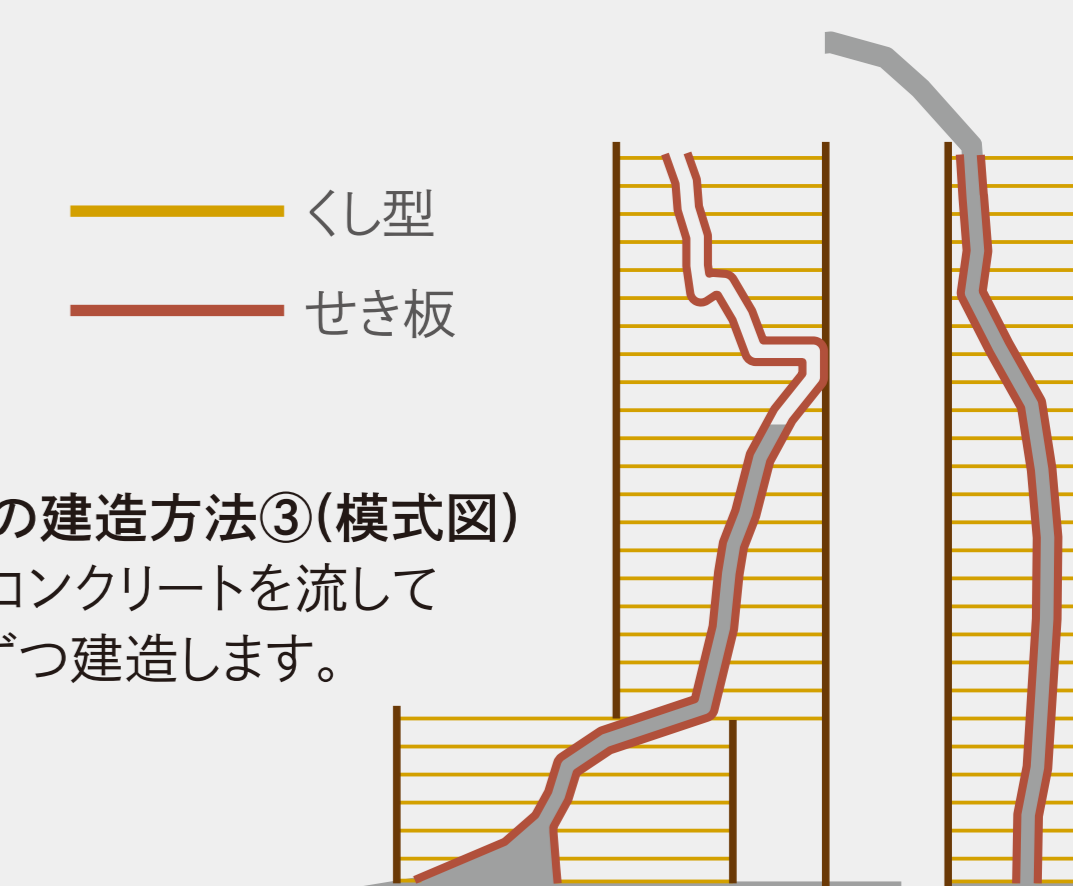
山田光吉は名古屋のペンキ職人で、弟子の後藤鉄五郎と共に鎌倉の大仏をモデルとして前例のない鉄筋コンクリート造の大仏を作り上げました。3年にわたる建造工事には地元の左官や大工などの職人が携わりました。その後、山田光吉は湯田中温泉の護国観音(長野県山ノ内町・現存せず)を作り、後藤鉄五郎は道徳公園のクジラ(名古屋市南区)や刈宿の大仏(西尾市)を作りました。

## 大仏寺について

大仏寺は聚楽園大仏を御本尊とする曹洞宗の寺院で、昭和57年(1982年)に設立されました。



大仏の建造方法①②(模式図)  
輪切りの原型を拡大して実際の大きさの線を描きます。



大仏の建造方法③(模式図)  
型にコンクリートを流して1段ずつ建造します。



大仏内部に残る型枠の跡



建造関係者による竣工記念写真

外国語での説明はこちらから  
Select a language you want to view.  
点击查看外语详情 / 點擊查看外语详情  
외국어 설명은 여기에서



English



简体中文



繁體中文



한국어

東海市教育委員会

東海市文化財標示板第34号